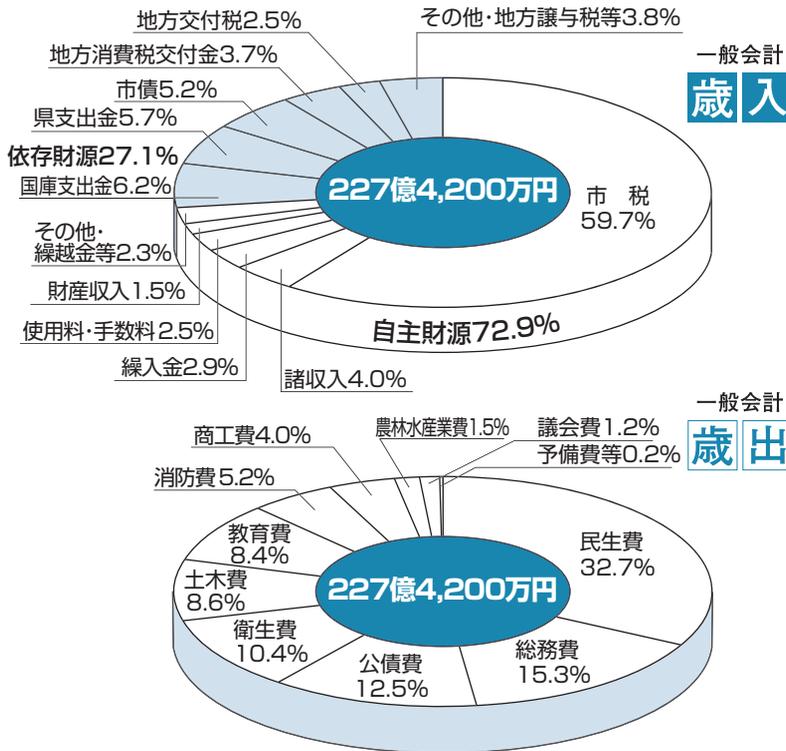


平成20年度一般会計予算 などを議決



3月市議会定例会は、2月26日から3月21日までの24日間の会期で開き、議案43件を審議しました。

平成20年度一般会計予算など、その主な内容をお知らせします。



平成20年度予算

(単位:万円)

会計別	予算額	前年度比	
一般会計	227億4,200	3.6%減	
特別会計	国民健康保険事業	78億850 2.6%減	
	老人保健	7億650 88.4%減	
	介護保険事業	46億410 5.4%増	
	後期高齢者医療事業	12億4,590 新規事業	
	モーターボート競走事業	1,373億7,000 16.5%増	
	土地区画整理事業	15億2,680 0.8%減	
	公共用地対策事業	1億3,530 9.2%減	
	下水道事業	31億3,900 42.8%増	
	三谷町財産区	4,570 11.7%増	
	西浦町財産区	1,420 19.3%増	
	小計	1,565億9,600 11.6%増	
	企業会計	水道	収益的 18億2,120 0.5%増
		水道	資本的 10億9,720 36.2%増
病院		収益的 83億3,740 2.4%減	
病院		資本的 4億9,330 5.9%減	
小計		117億4,910 0.5%増	
合計	1,910億8,710 8.8%増		

予算審査 特別委員会から

20年度一般会計予算など13会計予算は、20人の委員からなる予算審査特別委員会（委員長波多野努、副委員長喚田孝博）を設置し、審査をしました。

審査は、3月13日、14日、17日、18日の4日間にわたり、慎重に行いました。

●一般会計予算 前年度比3.6%の減

一般会計予算は、総額227億4,200万円の前年度比3.6%の減となっています。

歳入の59.7%を占める市税は、個人・法人市民税合わせて73,000万円の減、固定資産税は3,000万円の増、都市計画税が1,000万円の増など、市税全体では0.2%減の135億8,290万円です。

歳入全体の財源構成は、市税、繰入金、諸収入などの自主財源が72.9%、市債、国・県支出金などの依存財源が27.1%となっており、自主財源が前年度に比べ、1.5ポイント増加しました。

20年度の新規施策の主な内容については、次のとおりです。

医療費の全額助成の対象を、入院は中学校卒業まで、通院は小学校卒業までに拡大するため、3億3,509万円が計上されました。

小学3年生及び中学1年生で35人学級を実現するために、4,000万円が計上されました。

学校の安全、図書、楽器、設備の充実などのために各学校に3,000万円を配分し、特色ある学校づくりを推進